



北房小だより



○仲よく助け合う子 ○めあてをもって学ぶ子 ○元気よく粘り強い子
真庭市立北房小学校 令和7年12月② 文責 西村欣也

北房小HP

2学期もがんばりました! ー児童アンケート結果報告ー

本年度は、児童に学校生活を楽しんで欲しいという思いから、「知（学びを楽しむ）」「徳（学校生活を楽しむ）」をテーマに教育活動に取り組んでいます。その取組についての2学期末の児童アンケート結果をまとめましたのでお知らせします。

□「知（学びを楽しむ）」に関する項目

「めあてをもち、課題を進んで解決し、学びを楽しんでいる。」

目標値- 児童アンケート 肯定的回答85%以上

「学びを楽しむ」評価項目に関する児童アンケート		4月	7月	12月
①学習の見通し	学習のゴールを意識して学習に取り組む。	89%	87%	89%
②めあて意識	めあてをもち学習をする。	86%	85%	89%
③学習への意欲	授業中、進んで学習をする。	84%	87%	89%
	宿題や自主学習に進んで取り組む。	90%	85%	85%
	国語の勉強が楽しい。	72%	79%	80%
	算数の勉強が楽しい。	66%	77%	78%
④学習内容の理解	国語の授業の内容はよくわかった。	81%	87%	91%
	算数の授業の内容はよくわかった。	75%	85%	91%
平均（達成値）		80%	84%	87%

【結果から】

○「①学習の見通し」「②めあて意識」については、昨年度から継続して授業改善に取り組んでいることもあり、年度当初から高い肯定率を維持することができています。

○算数と国語に対して苦手意識をもつ児童が多いことから、本年度は、「国語嫌い」「算数嫌い」を作らないよう、「課題を探究する楽しさ」「友達と一緒にする楽しさ」「できる楽しさ」を味わせる授業づくりに向け、教職員の研修を進めています。学習内容の理解について、「よくわかった」と、児童の肯定的な回答が増えていることはうれしい結果です。これを励みに3学期もさらに研修・実践を深めていきたいと思っています。

○宿題や自主学習については、内容や量、取り組み方について、学年差があります。2学期には、児童の自主学習のよい取組を各学級から選び、教員のコメントを添えて校内掲示し、全校に紹介する取組を行いました。今後も児童の意欲が向上し、主体的な取組となるように努めたいと考えています。

○2学期後半は、特に、どの学級でも落ち着いて学習する様子が見られます。児童のがんばりを讃え、「達成感」や「成就感」に繋いでいきたいと思っています。



□「徳（生活を楽しむ）」に関する項目

「きまりを守って仲よくし、学校生活を楽しんでいる」

目標値- 児童アンケート 肯定的回答85%以上

「生活を楽しむ」評価項目に関する児童アンケート		4月	7月	12月
①あいさつ、規律	相手を見て、聞こえる声であいさつをする。	85%	82%	79%
	きまりやルールを守って生活している。	75%	86%	87%
②認め合い	仲よく生活することができている。	90%	92%	96%
	友達は自分のことを分かってくれる。	78%	84%	88%
	自分にはよいところがある。	74%	82%	81%
③学校生活の楽しさ	学校へ行くのは楽しい。	82%	80%	88%
	学級は楽しい雰囲気である。	81%	82%	89%
④遊びへの意欲	休み時間、進んで遊びに行く。	79%	83%	85%
平均（達成値）		80%	84%	87%

【結果から】

○「あいさつ」については、寒くなるにつれ、朝のあいさつの様子を少し残念に感じていましたが、アンケートの数値にも表れています。特に、登校時の見守りボランティアや途中で出会う地域の方、日中に来校されたお客様などへのあいさつができない児童が多いです。素通りするのではなく、自分から進んでするよう意識をしてあいさつができるとうれしいです。ご家庭でも声かけをよろしく願います。

○「②認め合い」に関する項目がさらに上昇しています。友達関係は、学校生活を楽しむ上で、とても大切な要素です。学級作りについては、このアンケートの個別の結果や市教委が行う検査（QU検査）結果の分析を教職員で行い、学級づくりに生かすよう取り組んでいます。

○「③学校生活の楽しさ」の項目が、さらに上昇していることをとてもうれしく感じます。学級や学校の活動への児童の参画の機会を通して、「達成感」や「成就感」をさらに高めたいと思います。また、児童一人一人に目を向け、回答評価の低い児童への関わりや見守りを大切にしていきたいです。



基礎学力の定着を図るための朝学習の取組について

○毎週火曜日の朝学習の時間に「ポルタの漢字」の取組を行っています。（1年生は3学期から実施予定）前学年までに学習した漢字（国語「漢字を使おう」の範囲）の復習や確認テストを通して、児童の主体的に学ぶ意欲の向上をはかり、達成感を味わって欲しいという思いで行っています。前期5回の平均点は88点でした。漢字ノートに、一字一字、一生懸命、そして丁寧に練習した字を見ると、児童のがんばりが伝わり、とてもうれしいです。漢字を覚え、そして、丁寧に文字を書く習慣を身につけてくれることも期待しています。

○毎週木曜日の朝学習の時間には、「計算の復習プリント」を行っています。児童の学習の定着状況を見ながら、前学年までに学習した内容を計画的に復習しています。2学期は、9月を強化月間として、県や全国の学力テスト等で正答率が低かった『数の相対的な見方』に関するプリントに全校で取り組み、つまずきの解消に努めました。算数嫌いな児童にしないためにも、基礎基本を丁寧に身につけられるよう、3学期も工夫した取組ができるようにしたいと考えています。

